

第5回番組審議会議事

- 1 開催年月日 令和6年11月28日(木)
- 2 開催場所 トモルテたわらもと2階
田原本町こどもはぐくみ・交流センター フリースペース
- 3 委員の出席

委員総数 9名
出席委員 6名

出席委員の氏名(五十音順)

小澤由美子、坂本奈保子、西和弘、濱田昂志、藤本勇樹、渡辺一城

放送事業者側(以下、「局側」とする。)の出席者氏名

- ・代表理事 阪本敬尚
- ・FM事業部 市原剛

4 議事

番組審議・質疑応答

5 その他

(1) FMまほろばからの報告

(2) 次回以降の予定日の確認

4 審議内容

番組審議・質疑応答
審議番組

「空の向こうへ」令和6年4月13日、4月20日放送分

番組情報：毎週土曜日：10時30分～10時35分
(再放送本放送翌日曜日 10時30分～10時35分)

- 委員 聴きやすいしBGMも良かった。知らない内容もあったし水の知識がある方は貴重ではないか。
- 局側 知識があるのが分かったので水に関する番組が出来ないかパーソナリティに相談し、水源の川上村に関する内容で制作することになった。また川上村と田原本町は水（水道）の協定を結んでいることも後押しになっている。
- 委員 このような内容は多くの方に聴いてほしいと思った。実際にどれだけのの方に聴いてもらっているかを知るためにも聴取率が分かる方法を考えた方が良くと思う。そしていかに聴いていただけるかを考えてみるべき。内容は本当に良かった。落ち着いた語りでもあり、最後の「さようなら（奈良の方言っぽく）」は個人的にお気に入り。災害の時、聴いてもらえる体制を整えていく必要がある。
- 局側 聴取率はなかなか取りにくいが出来ただけ考えてみる。災害時も含めて聴いてもらえる体制は、平時のイベントにも出て行って皆さんに知ってもらえるように進めていく。
- 委員 最後の「さようなら（奈良の方言っぽく）」は、それまで標準語だったので逆に違和感があった。大事な内容で事実と事実の合間が流れるように進んだので分かりにくかった。ナレーターなら良いがパーソナリティなら抑揚が要るのでは。また番組名が内容と合っていないと思うので結び付けるようにすべき。
- 局側 番組名については結びつけるように進めていく。流れるように進んでるところは出来るだけ転調を含めて展開できるように進めてみる。
- 委員 県内各地の話をこれから広げてみてはどうか。聴けなかった方へのフォローもすべき。最後だけでなく全てを奈良弁でやってみるのも面白い。
- 局側 今後の展開として拡がり出来るように検討を進める。聞き逃しのフォローは、まずは年末年始に番組の特集も検討している。

委員 タイトルが川上村と結びつかないので始めて聞いた方に向けてもギャップがあると思う。内容は良かったが一本調子で入りやすく聞き逃してしまう事が多いし、抑揚がある方が良い。
5分間の中で多くの情報を入れようとしているので一本調子になるのでは。削って深くして伝えたいことを絞ってみてはどうか。
聴いてる方のリサーチもすべき。

局側 タイトルは今後検討していく。内容についてもパーソナリティと相談し、出来るだけ絞れるようにしていく。

5 その他

(1) FM まほろばからの報告

十六市（10月20日）での公開収録を行い、放送を11月29日、30日、12月1日に同内容で放送する。

12月1日開催の防災フェスティバルの現場と局とつないで約10分間の生放送を行う。

田原本町広報誌12月号に近隣中学生によるFMまほろばの取材記事が掲載される。

田原本町広報番組の企画で近隣小学生の2名それぞれ出演する番組が収録、放送される。

奈良の求人誌「人材ニュース」の1つのページに、奈良県内のコミュニティFM5局が毎号紹介されることになる。

FMまほろばのTシャツを作成し、イベントに参加した際にスタッフが着用し、局のアピールをする。

11月23日に鍵・唐古史跡公園「親子わくわくフェスティバル」のイベントに職業体験ブースとしてDJ体験として出店し、40名ほどの来場者があった。

各SNSでの情報発信も行っている。

12月8日にイオンモール橿原でイオンモール橿原様提供番組の公開収録を行う。

(2) 次回以降の予定日の確認

2025年1月23日木曜日15時30分～、本日と同じ場所で行うことを確認。

審議番組については後日決定し、委員に通知する。

以上